

『孤独死』 ニーチェに学ぶ

東京都監察医務院
監察医長 小島原將直

Ein Vortrag für alle und keinen
(万人に与える講演、何びとにも与えぬ講演)

1. はじめに

人は身内や知人の死をどんなに断腸の思いで経験しても死ぬ人の気持ちは絶対にわかりません。自分が死んでいないからです。

「孤独死」という言葉があります。マスメディアや一部の法医学徒の杓子定規な決まり文句ですが、誰にも看取られない病死のことであり、特に独居者で、かつ発見が遅れ大なり小なり死後変化が進行したような場合に使われます。

しかしながら孤独と死は全く別な概念であり、これが結びつく典型例は自殺でしょう。

一方、監察医が扱う病死の大半は即死に近い極めて短時間の死であり、果たして死に逝く人が死を意識して助けを求めながら孤独に死んで行ったのかは甚だ疑問です。

そこで私の経験した「孤独死」の事例を、発見までの経緯と現場状況をふまえ実態を披露致します。

また同時に個人的な体験からこの「孤独死」が私自身の理想的な死であるかもお話しします。

さらにニーチェとの出会い、その著作の中の言葉ひとつひとつが肺腑をえぐり、また反撥しながらも今日まで座右の書物であることも吐露します。

2. 死体発見までの経緯（重複あり） 別紙参照

- イ．無断欠勤、約束不履行（最多） 発見は早い
- ロ．電話応答なし（次多）
- ハ．定期・不定期の訪問（身内、ヘルパーなど）あるいは通い（飲食店など）
- ニ．家賃未納・滞納
- ホ．配達物停滞（多くは新聞、その他弁当、乳製品なども）
- ヘ．電燈、音（不審音）、雨戸、窓など
- ト．異臭（夏季に多発） 自警団も発足
- チ．センサー（探知機）による通報
- リ．立ち退き強行
- ヌ．その他（病死ではないが、遺書を郵送する。死ぬとメールを送るなど）

3 . 死体現象

- 早期死体現象 . . . 血液就下・死斑 溢血点、死体硬直など
 - 晩期死体現象 . . . 自家融解、腐敗
- ミイラ化など

4 . 臨死体験

5 . ニーチェ (Nietzsche, 1844 ~ 1900) との出会い

「ツァラトウストラかく語りき」 (Also sprach Zarathustra, 1883 ~ 85)

- Pöbel . . . 賤民
- die letzten Menschen . . . 末人、最後の人間、おしまいの人間
- die höheren Menschen . . . 高人、高等な人間、ましな人間
- die Übermenschen . . . 超人
- die ewigen Wiederkunft . . . 永劫回帰

- ・神は死んだ。人間への同情のゆえに死んだのだ。
(Gott ist tot; an seinem Mitleiden mit den Menschen ist Gott gestorben.)
- ・「これが生だったのか。よし、もう一度」
(„ War das das Leben? Wohlan! Noch einmal!“)

6 . 孤独

- 何とか抜け出したい孤独 低い孤独
- 自分から求める孤独 高い孤独、創造的孤独

- ・見捨てられていることと、孤独とは別のことだ。
(Ein anderes ist Verlassenheit, ein anderes Einsamkeit.)
- ・病める者が人びとを避ける孤独もあるが、それとは別な病める者から身を引く孤独もある。
(Des Einen Einsamkeit ist die Flucht des Kranken; des Andern Einsamkeit die Flucht vor den Kranken.)

7 . 孤独を喚起させる主題曲

ショパン：練習曲作品 2 5 第 7 番嬰八短調

8 . おわりに

人の死は常に偶然の手にゆだねなければならず、これを必然化させるのは自殺だけ。しかしこれすら救いを求めての毅然たる決行もあり、孤独とは次元を異にする問題です。「孤独死」の殆どは孤独とは無関係の短時間死。独居に至った経緯も極めて個人的な

問題であり、それを他人が孤独であろうと推察するのは間違っています。

一方、人の死は厳肅でかつ微妙な問題を孕んでいるので軽率で独善的な言い方は慎まねばなりません。死に対する考えは年齢ごとに変わるものです。

死ぬことの肉体的苦痛は大したことがないと理解できたところで、死の恐怖は依然として去らず、この世との別れ、幽明境を異にすることへの恐れの方が大きいかも知れません。これは宗教にまでかかわる領域なので、各人の対処は様々でしょう。

文芸作品にその方策を講ずるなら、私はニーチェの『ツァラトストラ』を第一に薦めます。ニーチェは孤独に悩みながらも孤独こそが人間を強くし、超人に至る道をひらくと説いた思想家です。しかしその激しさ、エリート思想に反撥を覚える人には、モンテーニュ(1533~92)の『随想録(エッセー)』や兼好(1283?~1350?)の『徒然草』なら共感を覚えることが多いと思います。

やれ携帯電話だ、やれインターネットだと人を孤独にさせようとしなければかりか、人間の身勝手さ、下品さ、醜さまで露呈させる現代は私にとって大変居心地が悪い時代です。また健康志向についても同様です。それ故に人間の卑小化を予見していたニーチェにますます心ひかれるのです。

死はいつ襲ってくるかわからない。そのためあまりにも妥協して、自分自身のない集団の中の人として人生を終わらせないように日頃から孤独を大切にしたいものです。

9. まとめ(老人のために)

1. 生を受けた者は死を待っている人。よって独居者は急変の際早期発見されるよう万策尽くすべし。
2. 皆に看取られる死が最上とは限らない。
死は所詮ひとりで成し遂げるものである。
3. 孤独を恐れるなかれ。たくさんの経験を重ねてきた老人は大なり小なり個性的である。自分のために生きると決意したら世の目は気にするな。
4. 巷にあふれる「孤独死」にいわれなき恐怖を感じるなかれ。実際の死は苦しくないし、孤独も感じない。
5. 健康法などを頼るな。

(別紙)

欠勤

40歳男性 コンピューター技師。会社には週1～2回のみ、もっぱら現場で仕事。上司が来て解錠してもらい入室ベッド上うつぶせ死。テレビついたまま。

病歴： 閉塞性動脈硬化症、抗血栓薬処方

死因： 急性心機能不全

心重量410g、軽度肥大、冠状動脈硬化なし
四肢の小動脈に閉塞なし、血管炎なし

欠勤

24歳男性 広告代理店勤務 独居、両親健在
翌日出勤せず、上司が帰宅途中訪れた(午後10時)
施錠され、中から携帯電話の着信音がきこえるため両親へ連絡。
健診なし(入社2年目だからとのこと)

死因： 冠状動脈起始異常

右冠状動脈欠如
左回旋枝が栄養(やや中等度の心肥大420g)

欠勤

61歳女性 てんぷら屋で皿洗いのパート 独居(3年前に夫死亡、子供3人は独立)
帰宅後 夜10時から居酒屋でも飲酒が日課(ビール1本と酒3合)
欠勤のため店の女将が居酒屋の女将へ連絡、そこから大家へ。

病歴： 高血圧症らしい
薬なし

死因： 蜘蛛膜下出血

電話

72歳女性 結婚なし 独居(アパート)
妹2人が隣県にいて月に1回位連絡をとり合っている。
1ヶ月前から妄想が激しくなり、近所ともめるようになっており介護拒否の態度。
最近食欲低下、妹に依頼されていた介護士が来たがドア越しに面接拒否。
翌日から応答なし、5日後に鍵屋を呼んで入室。

病歴： 不眠症
糖尿病(血糖値200)

死因： 虚血性心不全(推定)

いとこと姪が毎日来る

86歳女性 80歳まで幼稚園の先生、結婚なし、独居(3年前に同居の実妹死亡)
隣家にいとこと姪がおり、毎日生存確認にくる。
3年前から寝たきり、便の始末を他人がやることを毛嫌いし、一人でする。風呂には入っていない。

前日昼には生きていた。当日朝には死んでいた。
病歴： 大の医者嫌い、死んでも見せたくないと言っていた
死因： 老衰

甥がたまたま来て

87歳女性 独居（24年前に内縁の夫死亡）

子供なし、甥（39）が隣接区におり、時々様子を見に来る。

日常生活自立。

たまたま甥夫婦が新年の挨拶に来たところテレビの音はすれど施錠してあり返事なし。裏へ廻り台所の窓から入った。

病歴： 高血圧、狭心症、ニトロペン処方

死因： 虚血性心不全

茶飲み友達が来て

78歳女性 元看護婦 独居（夫は13年前死亡） 子供なし

向いの老婦人（78）は茶飲み友達。合鍵を渡している。

7月下旬、友が訪れると食事も摂らず衰弱していた。（冷房、扇風機なし、戸は閉め切っている）

「医者に行きなさい」と言うと、「私は元看護婦だからわかっている」と従わず。

2日後に来て発見。

病歴： 不明、薬なし

死因： 虚血性心不全（推定）

テレビの音なし

54歳女性 職業不詳（かつては小料理屋につとめていたとも）

結婚歴不明 独居（アパート）

毎日部屋からテレビの音が聞こえてくる。最近テレビの音が聞こえないのを大家が不審に思い無施錠ドアをあけた。

死因： 蜘蛛膜下出血（推定）

家賃

55歳男性 地質調査業（自営） 結婚なし 独居

室内には専門書以外に昆虫の本などがある。

かつて大酒家、肝臓を病んで2年前に断酒とのこと。

家賃3ヶ月分滞納のため大家が合鍵で入室

病歴： 医者嫌い、不明

死因： 肝硬変に合併した食道静脈瘤破裂 下血

新聞と布団

62歳男性 無職（年金） 結婚歴不明 独居（アパート）

新聞配達員が前日分を取り込んでいないことと、布団が前日と同じ状態で干してあることにより大家に連絡。

病歴： 腎血管性高血圧症、狭心症、糖尿病

死因： 虚血性心不全

近所の主婦がよく訪ねる

72歳女性 結婚歴なし 独居
ある宗教団体に所属。

近所の主婦(52)がよく訪ねる。その婦人が訪問し裏窓から入った。

病歴： 解離性大動脈瘤、8年前に大学病院入院、手術をしなければいけない状態であったが拒否し、2年前から他医で降圧剤だけもらっている。

死因： 左血胸

新聞、妻は痴呆でわからず

71歳男性 洋画家 ただし妻の介護に追われ殆ど筆をとっていない。子供2人は独立。妻は10年位前から重度の痴呆症。家事は本人がやる。施錠して買い物に出かける。

町会長が直接警察署へ電話をかけた。「新聞がたまっており、最近夫婦の姿を見ていないので様子を見て欲しい」と。警察官2階のベランダからのぞき死体発見。妻は夫の隣の布団の中で寝ていた。

死後約10日経過

病歴： 持病なし。

死因： 虚血性心不全(推定)

水道料金滞納

73歳男性 昔は大工、1年前まで清掃員(仕事がなくなったのでやめざるを得なかったらしい、結婚歴あり(離婚か死別か不明) 独居(マンション)。

近所つきあい一切なし、新聞なし、最終生存確認日不明。

水道料金3ヶ月滞納のため管理人へ連絡が入り解錠。

病歴： 全く不明、室内に診察券や薬一切なし

死因： ほぼ白骨化のため不詳

異臭と天井から腐敗臭

53歳男性 元印刷会社勤務 病気のため解雇
結婚なし、独居(アパート) 両親は既に死亡。
実弟の家賃支払い、近所とのつき合いなし。

最近(6月)開放されている台所窓から異臭がすること、階下の住人が天井から何かしたたり落ちてきたと自治会会長に申請、警官が窓から入った。

病歴： 「精神疾患」で9年前まで入院していた。以後 通院せず

死因： 虚血性心不全(推定)

弁当屋

80歳男性 妻(80)は痴呆症のため1ヶ月半前から入院中のため独居(マンション)。子供は独立。杖歩行で室内のみ。

弁当が午前11時と午後4時の2回配達される。また、急変の際、ボタンを押すと警備会社のガードマンが来ることになっている。

弁当屋が前回のものが残っていると次男宅へ連絡

病歴： 高血圧、多発性脳梗塞

死因： 虚血性心不全(推定)

水道を 12 時間以上使わないとブザー

72 歳男性 元行員 結婚歴なし 4 年前に区立の独居老人マンションに入る。

水道を 12 時間以上使わないとブザーがなる。ブザーが鳴ったので管理人が解錠。

病歴： 骨転移を合併した前立腺癌（末期）

大学病院の主治医が書いてくれないので当院へ

死因： 同じ

大家に速達状を送る

76 歳女性 元家政婦 結婚歴なし 独居（実妹が隣県にいる）

大家宅に速達状が届き、びっくり。警察立会いで開錠。

病歴： 慢性関節リウマチ、不眠症（10 年前から）

死因： 急性睡眠薬中毒（自殺）

手術を拒否

53 歳女性 無職（2 年前までパソコンオペレーター） 独居

両親は既に死亡。肉親と音信不通。

毎月末に必ず払う家賃をもってこなかったため、警察官立会いで入室。1 週間経過。

病歴： 直腸癌（2 年前に診断、人工肛門拒否）

死因： 会陰部瘻孔を伴う直腸癌（末期）

欠勤

63 歳男性 会社次長 独居（7 年前に妻は病死、娘は嫁いだ）

夕方職場で胸をなでながら「具合が悪いので明日は休ませてほしい」と言った。翌々日から無断欠勤。4 日目に部下が警察官立会いで入室。

病歴： 心筋梗塞（10 年前）

腹部大動脈瘤手術（3 年前）

胸部大動脈瘤（7.5cm）：1 年前に発見

死因： 虚血性心不全（推定）

電話

56 歳女性 無職 結婚なし 独居（7 年前に母死亡）

実弟が隣県にいる。

彼岸の墓参りの打ち合わせの電話に出ず、翌日朝弟が直接来て解錠。

病歴： 高血圧症

糖尿病、かなり前から発症していたらしいが母の死をきっかけにまじめに通院。

死因： 脳出血

（解剖）その続発症：誤嚥性肺炎、急性多発性胃潰瘍

157cm、58kg

電話

80 歳女性 14 年前に夫と死別後に独居

娘 3 人は皆嫁いだ。同居をすすめても拒否。

長女（58、船橋市）が月、金曜日に訪れ日用品と食料を買う。

高齢のため下肢が弱くなり這って歩行。便所に間に合わずに脱糞するので娘には「パンツを

買ってくれ」が口癖。痴呆ではない。

長女が朝電話すると話し中、長時間のため NTT へ問い合わせると「受話器が外れている」との回答。

娘を伴って訪れ風呂の窓ガラスを割って入室

病歴： 大の医者嫌い、「入院なんてもってのほか」と

死因： 虚血性心不全（推定）

店に来ず

52 歳男性 元鳶職 生活保護 独居

大酒家（焼酎）ヘビースモーカー

行きつけのラーメン屋の店主が 1 週間前から全く来なくなったので直接来て、大家から合鍵をかりて入室。

病歴： 肝機能障害、重症狭心症

死因： 虚血性心不全

家賃

53 歳男性 元タクシー運転手 結婚なし 独居（マンション）

兄弟とは 20 年間音信不通、入居時の保証人はパチンコ店で知り合っただけの人。酒好き（ウイスキー、ワインの空びん多い）

家賃 3 ヶ月分滞納、電気、ガスが止められている。

10 日前に不動産屋が来たが応答なし。

当日大家が来てうらへ廻ったところ大量の蠅に腰を抜かし、不動産屋へ連絡。

病歴： 糖尿病らしい（弟は加療中）

死因： 糖尿病を伴う低栄養（推定）

悪臭（新聞たまっているのに）

48 歳男性 無職（元ガス会社の下請け、若い頃は故郷でやくざ） 独居（マンション）

2 週間前に離婚（働かない、病気を治す意欲なしのため）。子供 2 人は妻の元へ。朝から晩まで酒浸り（清酒 1 升/日）

夏、水道工事が 102 号室に来ていたところ悪臭がするのでその元を 105 号室とつきとめ、玄関横の窓からのぞいて真っ黒な死体発見。新聞は 1 週間分外。

病歴： C 型肝炎、肝硬変で 6 回入院。肝硬変と診断されてから「どうせ死ぬなら好きな酒を飲んで死ぬ」と言い、飲酒を続けていた。

死因： 肝硬変（C 型肝炎 + アルコール性）

新聞

90 歳女性 結婚なし 独居（マンション、10 年前まで妹と同居）

偏屈で近所と没交渉、甥がいる。日常生活自立、外出する。

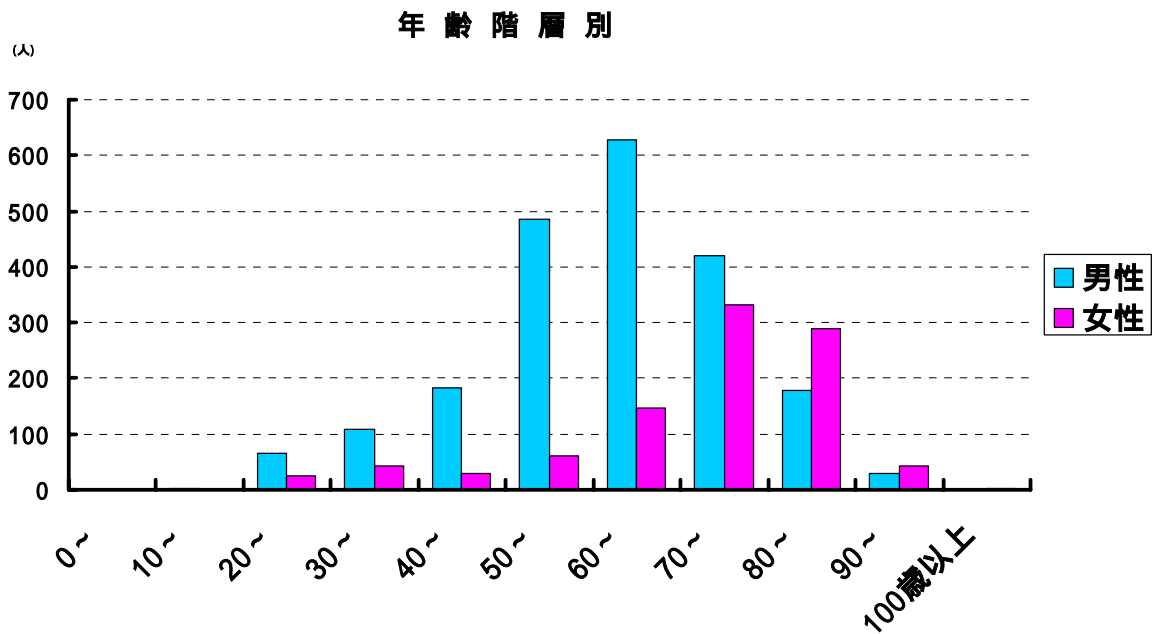
新聞が 9 日分玄関前の廊下に積まれているため管理人が甥に連絡。

病歴： 高血圧、骨粗鬆症

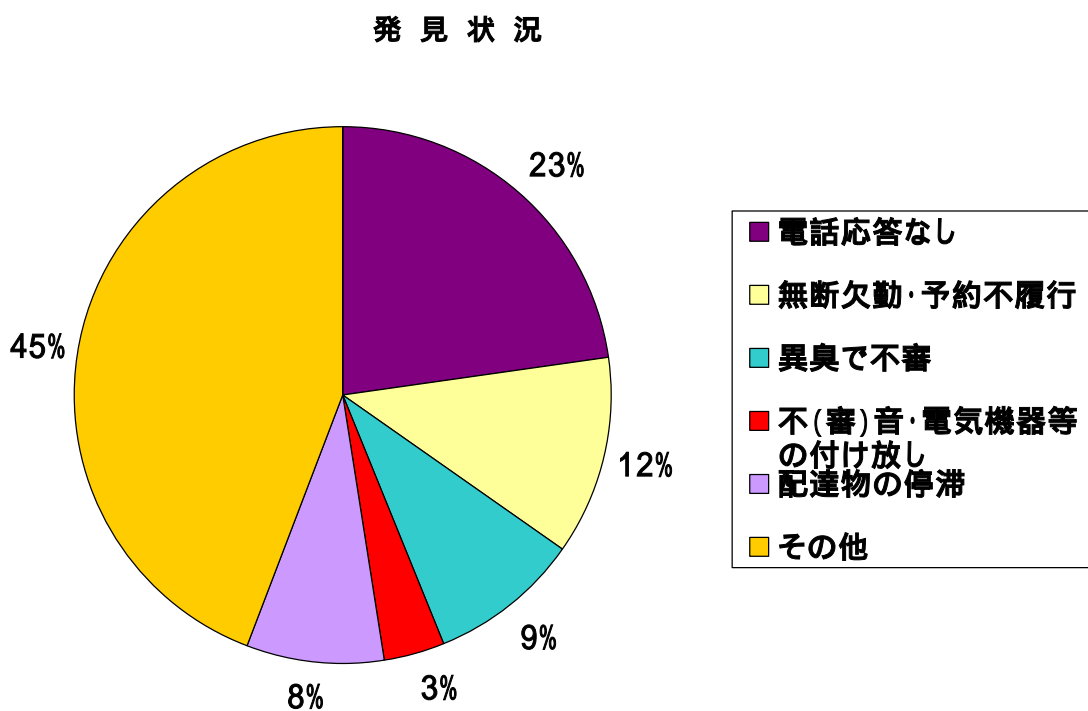
死因： 虚血性心不全（推定）

(参考)

平成16年 単身者・自宅内での死亡 **男性2101人**
女性 971人



平成16年 単身者・自宅内での死亡 **男性2101人**
女性 971人



平成16年 単身者・自宅内での死亡 **男性2101人**
女性 971人

発見までの日数

